

[参考事項]

成果情報名：秋田県南部における赤肉リンゴ‘ローズパール’、‘ルビースイート’の品種特性

研究機関名 果樹試験場 品種開発部

担当者 照井 真・原加寿子 他1名

[要約]

県南部におけるリンゴ新品種‘ローズパール’の成熟期は10月上旬、‘ルビースイート’は10月中旬である。いずれも果肉色が赤い品種であるが、県南部では果肉の着色程度に年次間差が大きいいため適応性は低い。

[キーワード]

リンゴ・品種・果肉色・ローズパール・ルビースイート

[普及対象範囲]

県南部リンゴ栽培地域

[ねらい]

県内のリンゴ生産は生食用品種が主体であるが、近年、加工を目的とした品種の導入が増えつつある。

そこで、農研機構果樹茶業研究部門が育成した果肉が赤いリンゴ品種‘ローズパール’と‘ルビースイート’の県南部での適応性を検討する。

[成果の内容及び特徴]

- 1 開花期は、‘ローズパール’は‘ふじ’と比較して2日程度遅く、‘ルビースイート’はほぼ同時期である(表1)。
- 2 ‘ローズパール’の成熟期は、県南部で10月上旬である。果重は400gを超える大果で、果皮は緑黄色だが一部薄い赤色に着色する。果形は扁円～円で果実の揃いは中程度、サビは少なく、つる割れもみられないが、心かびの発生がやや多い。糖度は「ふじ」と同等だが酸度が0.50～0.66g/100mlと高く、酸味を強く感じる。また、果肉の着色面積は、横断面で53～26%とやや少なくなかつ年次変動が大きい(表2、写真1)。
- 3 ‘ルビースイート’の成熟期は、県南部で10月中旬である。果重は500～700gと極めて大果で、果皮色は赤だが色調がやや暗い。果形は扁円から円で果実の揃いは中程度、サビやつる割れ、心かびの発生は少ないが、年によりみつ症(外みつ)が発生する。糖度が13.3～16.1%、酸度が0.37～0.42g/100mlとやや酸味が強い印象を受ける。また、果肉の着色面積は横断面で33～80%と‘ローズパール’以上に年次変動が大きく、同一年に収穫した果実の個体間差も大きい(表3、写真2)。

[成果の活用上の留意点]

- 1 ‘ローズパール’のS遺伝子型はS₁S₃、‘ルビースイート’はS₃S₉であり、‘ふじ’(S₁S₉)の受粉樹として利用できる。
- 2 本品種の苗木は、果樹苗を取り扱う種苗会社から購入可能である。

[具体的なデータ等]

表1 ‘ローズパール’、‘ルビースイート’の初期生態

品種	樹齡/台木	発芽	開花	満開
ローズパール	4年/ちなつ/マルハカイトウ(高)	4月7日	5月6日	5月10日
ルビースイート	4年/ちなつ/マルハカイトウ(高)	4月5日	5月5日	5月8日
ふじ	39年/マルハカイトウ	4月6日	5月4日	5月8日

※平成29年～令和元年の3か年平均

※樹齡は平成29年時点、(高)は高接ぎ

表2 ‘ローズパール’の果実品質

調査年	収穫日	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	リンゴ酸 (g/100ml)	デンプン ^z (指数)	赤道横断面 着色面積(%) ^y
平成29年	10月13日	480	15.1	15.3	0.54	1.7	53
平成30年	10月10日	306	15.7	14.1	0.66	1.4	44
令和元年	10月8日	454	12.2	14.4	0.50	1.6	26

z : ヨードカリ反応による指数(5 : 全面染色～1 : 染色面積10%以下、0 : 染色なし)

y : 果実横断面に占める赤色果肉の面積割合

表3 ‘ルビースイート’の果実品質

調査年	収穫日	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	リンゴ酸 (g/100ml)	デンプン ^z (指数)	赤道横断面 着色面積(%) ^y
平成29年	10月24日	572	15.0	16.1	0.42	2.7	47
平成30年	10月16日	565	12.4	13.8	0.41	2.8	80
令和元年	10月8日	747	11.5	13.3	0.37	2.5	33

z、y : 表2に同じ



写真1 ‘ローズパール’の外観と果肉の着色程度



写真2 ‘ルビースイート’の外観と果肉の着色程度

[その他]

研究課題名 : 果樹産地再生の基盤となる新品種の育成と選抜

研究期間 : 平成26年度～令和元年度

予算区分 : 県単